

千葉県若手医師等グループの概要

グループ名	夏季フィールドワーク
グループの活動目的	夏季休暇の時期に医学生が地域医療の現場を体験する機会を実現することで、早期から地域医療を知る機会を増やし、地域医療への好奇心を刺激し、繰り返し地域での医療経験を希望する意欲ある学生の成長に貢献する。この活動を通して、地域医療に携わり、地域への定着を志す医学生のキャリア形成に寄与する。
代表者	千葉大学大学院医学研究院千葉県寄付講座地域医療教育学 荒木信之・医師（県内）

1 構成員

区分別 人数	医学生（県内） 大学院生	10人 0人	医学生（県外） 医師（県内）	1人 12人	臨床研修医 医師（県外）	0人 0人	専攻医 その他	0人 2人
<主な所属> 千葉大学大学院医学研究院、千葉大学医学部、東邦大学医学部								

2 今年の活動計画

時期	実施予定内容
1～3月	夏季フィールドワーク受け入れ施設募集、準備開始
4～6月	夏季フィールドワーク準備、5月応募開始
7～9月	7月応募締め切り、事前オリエンテーション、夏季フィールドワーク開始、9月末夏季フィールドワーク終了
10～12月	夏季フィールドワーク結果総括、報告、振り返り

3 前年の活動実績（登録1年目は入力不要）

(1) 学習活動

時期	活動概要（学習テーマ等）	参加人数	
		対面	Web
5月	千葉県地域医療実習を計画するプロジェクトベース学習を行った。	11	3
6月	千葉県地域医療実習を計画するプロジェクトベース学習を行った。	12	1
7月	千葉県地域医療実習を計画するプロジェクトベース学習を行った。	12	0
7月	医学教育学会にて地域医療教育について広く学習した。	10	0
9月	千葉県地域医療実習を計画するプロジェクトベース学習を行った。	12	1
10月	カリキュラム開発についての学習を行った。	8	0

(2) その他の活動

8-9月：塩田病院、大多和医院、季美の森リハビリテーション病院、君津中央病院大佐和分院、外房こどもクリニック、東陽病院、南房総市立富山国保病院にて夏季フィールドワーク実施